

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

議長より登壇の許可をいただきましたので、これより私、2番浦泰孝の一般質問を始めさせていただきます。最終日の最後ということで、市長以下、執行部の皆さんはもちろん、議員各位におかれましても大変お疲れのことと思います。これまでの質問と重複する部分は可能な限り避けてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

今回の私の質問は、地域の活性化と産業の振興という大きな2本の柱をもとに進めさせていただきます。

使い古された感さえある100年に一度と呼ばれる大不況であります。2008年の倒産件数は5年ぶりに1万5,000件を超えているとのことでもあります。また、1年間に倒産した上場企業件数が過去最高を記録した2008年の33件に対し、2009年は6月5日現在、もう既に18件を数えているそうです。県内においても先日、大阪市に本社を持つファッション衣料素材メーカーのシオタニが倒産され、多久市の工場も閉鎖されることになっております。これに伴い、100人を超す従業員の方が解雇を余儀なくされております。

武雄市においては、先月来からの質問にもありました新武雄市民病院の東部地区での建設が決定したことや、それに伴う雇用の創出への期待、または新幹線西九州ルート建設に向けた着工、あるいは県との協力による北方・宮裾地域の工業団地の整備と、また国道バイパスの計画など、景気浮揚に向けた明るい材料はあるものの、目の前の立ち込める暗雲はなかなか晴れる兆しが見えないのが現実であります。これに対する特效薬というものなかなか難しいところがございますが、武雄市は一丸となって乗り越えていかなければならないと私も感じているところであります。

個人の消費もかなり落ち込んでおります。スーパーなどの流通業も確実に売り上げが落ち込んでいると思われまして、飲食店なども客入りが減少しております。また、閉塞感や殺伐とした感にとられるときだからこそ、社会的に弱者となられる方の救済や地域のコミュニティ活動や助け合いが必要なきときであると私は思います。

さきの3月定例議会の折に御紹介いたしました山内町大野地区と施設そよかぜの杜で行われた防災訓練は、地元消防団による発案により実現したものであり、国や官主体の訓練とは違う市民、地域、施設が一体となったすばらしいものとして終えられました。安全・安心な社会の構築に対する貢献はもちろん、地域共同体との再認識とともに、地域の活性化にとって大きな功績だったと、その場に同席させていただき肌で感じるところであります。残念ながら、あいにくの公務で樋渡市長の出席はかないませんでしたが、その後、消防団などの大野地区8部の中島部長さんや副区長の福田氏もお礼にその後来庁されております。そして、報告等もされておると思いますので、消防防災組織の長としての市長の総括、感想をまず第一にお尋ねいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

答弁申し上げます。

私がうれしかったのは、この訓練が終わった後に、そよかぜの杜の入居者の方であるとか、実際、地区で参加された方が本当にこれはやってよかったという生の声を、行脚をしているときに直接いただいたんですね。私はいろんな訓練で自分も参加をしたり、拝見をしたりした中で、終わった後にそういう評価というのはなかなかいただけないんですね。やることで、ああ、よかったねという、そこで終わるんですが、消防団主導の民間の力を借りた、それで福祉施設をうまく巻き込んでやっていただいた手づくり感なんじゃないかな。それと、もう1つが、やっぱり地に足を着いた自分のものという消防訓練ということだったと思うんです。ですので、繰り返しになりますけれども、私はもちろんお礼、表敬に来ていただいたのもうれしいんですけれども、それに加えてうれしかったのは、そういう実際に参加された方々がよかったというのをかなり複数いただきましたので、本当にやっていただいて心から感謝を申し上げたいと思います。これが一つの、またモデルケースになるぐらいのインパクトがある訓練だったのかなというふうに認識をしております。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

今、キーワードとなるモデルケースという言葉を市長からいただきました。

それで、訓練がすべて終わった後、非常時の備蓄食材のほうの試食ということで、婦人会や食改の皆さんの本当においしいシシ汁とともにごちそういただいたわけなんですけれども、その後直ちに、消防の副団長さんであられますけれども、同僚であります末藤議員の指導のもとに、反省会のほうもすぐしていただきました。その中で出てきたことを私のほうからも総括として申し上げますが、提言としてまとめたいと思っております。

まず第1に、夜間などの火災の場合、照明の絶対数が少ないということで本当に大変だということ。そして、そよかぜの杜の場合なんですけれども、夜間ですと、門扉のところにありますちょっとした高さのレールなんですけれども、それでも段差としては危ないし、ベッドや、そういったところで患者さんを乗せて搬出する場合でも危ないケースがあるということですね。また、ヘルメットなどの備品をできればもう少しふやしてほしいということです。

また、これは3月の定例議会の折にも、進言と申しますか質問をさせてもらった分なんですけれども、山内西小学校のプールの水利としての利用、これは立地条件が武雄市内の学校関係はすべて違いますし、これは全体的に言えることではありませんが、利用ができないかということを確認したところであります。これにつきましては、かぎの管理のほうを既に消防団のほうに渡していただいているということで、今後活用 ないにこしたことはないんです

けれども、万が一の場合には水利としての活用ができるということでございます。

あと、これはちょっと災害の分なんですけれども、各施設の消防の消火栓の分なんですけれども、大野地区の場合も、県道の西側になります、いわゆる小学校やそよかぜの杜側ですね、消火栓のほうが入っていないということで、プールの利用もあります、やはり施設内に消火栓が欲しいということをお願いしておりました。これは今後課題となると思いますが、施設のほうで準備をしていたものなのか、補助的なものを行政もするものなのか、また、国の新しいガイドライン等には今後そういうのが乗ってくるのか、その辺はまだ整備ができてくるとは思いますが、その分も今後課題として出てくるものだということがありました。

以上が大体出てきた反省点であります。

消防署の署員の方は、定期的にこういった施設の中も立ち入りですとか検査等もあるかもしれませんが、今まで前例として、消防団の方が各施設の中をまず消防団として入ることはなかったと思います。万が一火事になった場合、一度患者さんの避難経路等を見ておくだけで夜間などの火事の場合は全然違うということをお聞きされて、定期的に、1年に1回でもいいですし、消防団の方もメンバーがかわられますので、そういった啓蒙もこれからは必要なんじゃないかということをお聞きして反省材料が出てまいりました。たまたま大野地区には、こういったそよかぜの杜ですとか、くろかみ学園、またあるいは竜門堂大野病院、山内西小学校やAコープなど大型施設があるわけなんですけれども、武雄市内においても、こういった施設には相通ずることであると思っておりますので、今後の展開ですね、市長が先ほど言われましたとおり、モデルケースとして展開をしていただけたら幸いです。

それでは、次の項目に入らせていただきます。

今年度は武雄市において全国の夫婦岩サミットが開催の予定と聞いております。山内町の夫婦岩がメインとなるんですけれども、今現時点で日程や内容などをわかる範囲で構いますので、お聞かせください。

議長（杉原豊喜君）

牟田山内支所長

牟田山内支所長〔登壇〕

全国の夫婦岩サミットにつきましてでございますが、これにつきましては、平成3年に全国の12の市町村によって結成をされております。その後、持ち回りによりまして、各地で年1回開催をされているところでございます。平成11年に第9回大会を旧山内町で開催いたしております。当地では、それに続きまして今回で第2回目ということになります。現在の加盟団体は9団体ということになっているところでございます。

ことしの開催の計画でございますが、12月の第1の土日に武雄市の物産まつりが計画をされております。その物産まつりと同時に開催をするということで、現在計画を進めていると

ころでございます。まず、前日の金曜日に歓迎のセレモニーと市内の視察、それから協議会の総会を実施いたしまして、翌日土曜日には物産まつりにおいて各地区の観光のプレゼンテーションを計画しております。ことしに限ってでございますけれども、例年12月30日に黒髪山のライトアップを実施しておりますが、このサミットと同時に開催をするということで現在計画を進めているところでございます。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

ただいま支所長より御説明いただいた全国の夫婦岩サミットであります。

参加の自治体のほうが、始められました当初は12市町村だったのが若干減ってきているみたいですが、このサミットのカレンダー等がありますけれども、市長ももしかすると見られたかと思いますが、他の地域の夫婦岩は、海上に立ち並んだり陸上に並ぶものなどいろいろあります。いずれにしてもですが、武雄市内の山内町の黒髪山にそびえ立つ夫婦岩ほどの景観、壮大さはほかに全く類を見ません。午前中の上田議員の質問の答弁の中にもありましたけれども、これまで黒髪山の黒にちなんだ旧山内町の商工会、道の駅を中心とした黒米を中心とする黒シリーズなんですけれども、そばとか、うどんとか、パスタなどのめん類、カステラ、パンを初めとする菓子類、また大根やスイカなどいろいろ野菜類など多種多様な特産物製品を生み出してあります。市長もよく御存じだと思います。しかしながら、今回一番の名前のメインになっております夫婦岩の「めおと」ですね、夫婦という、こういったキーワードにちなんだ商品が実はないですね。また、夫婦つながりでもう1つなんですけれども、山内町の水源であります狩立・日ノ峯ダムなんです、あちらのほうも御存じない方はいらっしゃるかと思いますが、実は夫婦ダムになっております。もちろんダム周辺を活用したイベント等もおもしろいと思いますし、私が今回提案、進言したいことは、これを機に夫婦ですとかカップルですとか縁結びとか、そういったのをキーワードとしたイベントとか商品開発なんかができたら、またお参りじゃないんですけど、縁結びで山に祈願に来られるとか、そういうのがおもしろくできないかと思っの提案なんです、この件に関して市長の御意見を伺いたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

いつ振られるかなと思ってときどきして聞いておりましたけれども、今結構、観光客を集めているのは、武雄で、じゃ、どこだろうかって考えたときに、実は淀姫神社、物すごい人なんです。これは「佐賀のがばいばあちゃん」のメインロケ地であるとかで行って、もう

何回かおさい銭箱が盗まれるぐらいに入ってきていると。これはちょっと余り似つかわしくない話かもしれませんが、やはりそういう物すごく神々しいものであるとか縁結びであるとか健康であるとかといったときに、何か行った記念を買っていただくということであると、さっきおっしゃたように、例えば札ですよ、札をつくる。しかも、大楠の何かでつくるといふうにして、それを霊験あらたかに、こう、しゃっしゃっしゃっやって、それを高く売る。高く売るのがポイント。それで、限定というふうにして 人間、限定とかそういうのに弱いので、それを出していけばいいのかなというふうに思っています。お札なんかすごいいいのかなというふうにして 買いませんか。思ったりとか、あとせっかくの機会なので、夫婦ラーメンをこの際つくると。例えば半熟卵に2つ、何でも2つですというふうにして、その期間だけは特別のラーメンを、豚骨じゃなくてイノシシの骨でつくるとか、そういうふうにして組み合わせを 例えば、イノシシの骨と豚の骨でつくって夫婦ラーメンで出すとか、そういうさまざまな楽しみというか、一緒にやっついこうという取り組みが多分、今世の中に求められていると思うんですよ。ですので、そういうことで、ぜひ議員で一致していると思いますけど、そういう記念の品々であるとか、食とかであるとか、そういうことをぜひ考えていただければ、それで私もちょっと知恵を出していきたいというふうに思っております。議員さんたちと認識は一緒です。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

御答弁ありがとうございます。たった今振ったにもかかわらず、すぐそういったアイデアを出していただけるのが、やっぱり樋渡市長のすばらしいところだと私も再認識をさせていただきました。

それで、黒髪山に関してなんですけれども、もちろんサミットもそうなんですけど、山内町の公民館のほうで計画というか、続けていただいております武雄市のまちづくり交付金の山内町の活用のほうなんですけれども、そちらのほうでこれに合わせて、黒髪山周辺の文化遺産等の案内板ですとか、またサイン等の整備なども同時に話を進めていただいているとのことですので、先ほど来からけさの新聞にもありましたとおり、3本の大楠ですけれども、そちらのほうも大変盛り上がりを見せていただいております。それとともに、ことしは黒髪山の夫婦岩 黒髪山全体ですけど、先ほど市長のほうも世界遺産にも匹敵するような自然、カネコシダですとかクロカミランですとか、さまざまな自然の観光資源がございます。あわせて、山内町のみならず武雄市を上げてアピールを今年度はしていただきたいと思いますし、私も微力ながらお手伝いをさせていただいていこうと思っております。

次に、こちらのほうも大変話題になっておりますイノシシ関連の質問でございます。

イノシシ関連の質問のほうも、かなり数名の方より質問もありましたので重複は避けたい

と思います。ただ、本当に昨日付の新聞にも報道はありましたが、お中元用などの贈答品としてのパッケージですとか、またこれは大変期待もしておりますけれども、ソーセージなどの新しい商品の開発なども着々と進んでいると聞いております。引き続き、本当に武雄の新しい目玉となるように頑張っていたきたいと私は願っております。

それで、イノシシ関連で1つだけなんですけれども、これも上田議員のほうからも紹介がございました、いわゆる例の新聞等で大変話題となったししリアンライスなんですけれども、市長も御存じでした。これを発案したのが、今春合併し発足した、旧北方町と旧山内町が合併しました武雄市の商工会の青年部のほうであります。以前なんですけど、私も所属した団体ですのでもっと手前みそになって恐縮でありますけれども、今現在武雄において、この景気低迷の時代にかかわらず、最も元気な若いグループの一つであると私も最近本当に改めて感じておるものですから、あえて紹介をさせていただいております。

商工会の青年部なんですけれども、旧山内町時代も今の物産まつりに当たる産業祭というのがあっておりました。その折に、これまで黒髪山のほう 神六山もそうなんですけれども を遊覧するへの誘致をしたりとか、あるいは花火を上げたり映画の上映、また今は民間のほうに渡っておりますが、黒髪温泉のほうの復活に際してとか、今の黒髪の里の道の駅の誘致等にも本当に陰ながらと申しますか、陰ひなたで協力、またはかかわってまいったところがあります。これも先ほど市長が答弁の中で言われました。これからのキーワードはよそ者、若者、ばか者ということですね。おもしろい表現ですけど、私もちょうどそれを思っておりました。どこの地域においても、例えばスポーツなんかでも、野球ですとかバスケットですとかバドミントンですとか、本当に熱心に貢献、そして時間を割いてやっていただいている。これは表現は悪いですけども、やっぱりばかになってやっていただける方があるからこそ、継続をしていることが多々あると思うんですよ。

樋渡市長はひたむきさですとか情熱ですとか、本当に、武雄に帰ってこられて、武雄を愛し、武雄に住む市民のためにがむしゃらに、もちろん明晰な頭脳と見識の上に成り立っていると思いますが、そういうところでは私は行政に対するばかさと申しますか、そういうところは本当にリンクする部分があるんじゃないかと思っております。これからのまちづくりは私も本当イベント等も含めてにぎわいに関して、この時代をばかになって引っ張ってくれる若い力が必要だとちょうど感じておりました。

それで、青年部に関してですけれども、実は先ほど来、子ども議会の話がありましたけど、あしたの19日ですけれども、旧山内町の議会議場を活用して、これは商工会の青年部がやられておりますけれども、若い経営者の主張大会というのを山内町の議場のほうで初めてやってみようということで試みをされることになっております。これは、もちろんケーブルテレビ等でも放映はされると思いますが、これも大変おもしろい活用ですし、なかなか山内、北方の旧庁舎がある部分の活用ができていそうでできていない部分はあります。山口裕子議員

からもいろいろな御提案とかが出ておりますが、議場の活用あたりは具体的には初めてじゃないかなと思って、本当におもしろい試みじゃないかと思っております。

る述べてまいりましたが、これらの青年部の活動あたりを通じて、これからの武雄市を若い人たちがどのように頑張っていられるか、市長の考えを求めたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

ある新聞のコラムに、今までの武雄市はともすれば直列型だったと。市長が頂点にいて、直列型になって、それはそれで効果を、例えば「佐賀のがばいばあちゃん」があるとか、レモングラスとか発揮してきたといったこと。それで、病院の選挙を境に、これが並列型に変わっていていると。ですので、あくまで私は市長という立場ですので、今までワン・オブ・ワンだったのがワン・オブ・ゼムになって、一緒にやっているということが非常に武雄の可能性を感じるということが書いてあって、まさにこれはもともと私が目指したものであります。私は帰る前の武雄のことはよく知りません。あくまで私も「よそ者、ばか者、若者」なんですね。北方、山内も含めてそうなんですけれども、それがやっと武雄に生まれ育って愛している方々と一緒になってやっていこうということになってきつつあるんだなということで、この並列型、そういう意味でいうと、武雄商工会の皆さんたちには本当に期待をしています。最もパワーが今あるのではないかなというふうに思っておりますし、あと上田議員から御質問のあった武雄人倶楽部であるとか、もう今さまざまな民の人たちが武雄を引っ張っていこうと、あるいは下支えしていこうというのが、これはほかの自治体から見ると本当にうらやましいというぐらいになってきているようです。

私がこれは外にいたからかもしれないけれども、よく思うのは、武雄をあえて否定的に言うと、出るくいは打たれる、打たれました。出過ぎたくいは打たれないと思ったら、やっぱり打たれました。これから私は次の世代に引き継ぐ者として、やっぱり出るくいを伸ばしていくということが絶対に必要だと思っておりますし、これをいろんな取り組みを政争の具にしないということが絶対に大事だと思いますので、一体感を持ってやっていくと。これはオバマも同じことを言っています。ユナイテッド・ステイツ・オブ・アメリカというのは、単なる州の集まりじゃなくて、いろんな人たちの集まりだと、アメリカは1つなんだということをおっしゃるので、私も武雄は1つということをごひこれからは申し上げて、本当に住んでよかった、帰ってきてよかった、お嫁に来てよかったという武雄をぜひ目指していきたいなというふうに思っております。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

本当に若い力を集結して、もちろん大先輩方の意見も尊重しながら、本当に力を合わせ、一丸となって、これからの武雄市をみんなでつくっていかねばならないと私も同一意見であります。

それでは、地域の活性化の質問をしてみましたが、次の産業振興について少し質問をさせていただきます。

国の景気経済対策補正に対しまして、我が武雄市におきましても、3月定例議会より総額15億円に及ぶ事業等がありました。そして、今6月議会にかけましても、さまざまな対策を展開しておられます。この件につきましても、昨日13番の前田議員より詳しく質問もございましたし、松尾陽輔議員からもきょうお話がございました。プレミアム商品券の総括を含めありましたので、こちらのほうも割愛はさせていただきますが、進言のみ、きのうからの意見もありましたとおり、建設業に限らず大変景気的には厳しい状態であります。予算が確定された事業につきましては、可能な限り早期の発注、そして、または今議会提案分についてもできる限りの地元業者への対応をよろしくお願いいたしておきます。

それで、そういった事業の中にも入ってまいります。道路の改良工事等はもちろん市民の安全な生活を守ることが前提でありますし目的でありますけれども、多方面からはある意味、地域振興や産業の支援の面もあります。これは私も以前から強く要望をしてみしました。それで、本当にささやかな変化ではありますけれども、議員を務めさせていただいて大変うれしいことがありました。それは、私が一番懸案事項としてたびたび要望をしておりました県道梅野有田線であります。3月議会ではもちろん取り上げさせていただいておりましたけれども、樋渡市長、そしてまちづくり部、そして県の土木事務所、特に今回は稲富県議のほうにも本当に御尽力を賜りまして、最も危険な水尾団地から100メートルほどですかね、危険な区域の仮設の歩道を建設するようなめどをやっと立てていただきました。本格的な事業の着工というわけではございませんけれども、本当にこれは私のうれしい事案でございました。

それで、その折、先日なんですけれども、担当課の職員の方からもいただいた言葉なんですけれども、「浦議員さんよかったですね、前進しましたね」と、そういう言葉をかけていただきました。私はやっと一歩前進をしたということで、本当にうれしかったです。恐れ多くも、先日、黒岩議員のほうが古賀代議士とのバイパスのやりとりや、あるいは市長や杉原議長、そして当の黒岩議員の御尽力と比べると、比べる分は物すごく甚だ恥ずかしいような話ですけれども、ただやっぱり交通安全ということで、子どもたちや、また高齢の方の命にかかわることですので、道路の大小ですとか、予算の大きさ小ささとかじゃなくて、本当にありがたいことだと思っております。

ただ、ここに至るまでですけれども、一応経過のほうも報告をいたしますが、一昨年の暮



れには、沿線地権者を含む水尾地区ほぼ全戸の署名をいただいたり、また、石丸前議長就任時にも県議会を通じて県のほうに、杉原議長、またあるいは山内選出の先輩議員のとともに陳情にも出向いたりしました。武雄の県の土木事務所のほうにおいては、地元の区長さん同席のもとに年に数回となく、これも杉原議長とともに陳情にも行かせていただいた経緯もあります。そうやって一個一個クリアして今回の一つの転機となりましたけれども、これもごらんの方もいらっしゃるかと思いますが、水尾団地の住民の方の新聞への投稿もございました。これはもう先月の末ぐらいやったですかね。この仮設の歩道については、先ほどの繰り返しにもなりますけれども、本格的な事業化に先駆けての維持工事であります。もちろん土地の買収などもまだ未定ですし、期間中は無償の貸し出しということになります。3件ほどの地権者の方は私のほうもすぐさまお会いもしましたけれども、二つ返事をいただきまして了解をいただきました。

そこでなんですけれども、昨日、道路建設における最重要案件なんですけれども、非常に残念というか、私の中で納得できない部分もございました。3月議会においても、私は樋渡市長のほうに、まだ全然未定でしたので、できることなら県道ですが、この仮設の歩道の建設の財源に市の道路建設の維持費などの使用をできないものなのではないかということ直談判したのも覚えていただいていると思います。前例のない無理を承知の願いでしたけれども、そういった経緯があったんですけれども、その傍らですが、昨日、黒岩議員からの質問の中で、道路建設、維持費に関する事案の中で、武雄町内で、北方町や山内町とは少し格差が見られるような工事が見られたという質問がありました。この県道梅野有田線に関しましては、地元の協力や地権者、そして県、市の担当部署と、本当に皆さんの協力のもと、ようやくここまで積み上げた経緯がございます。

今、先ほど申し上げた事案ですけれども、これはややもすると、私も含め、また市の執行部と、そして地元の方が積み上げてきた信頼を壊しかねないような事案だったと私はちょっと認識をしたものですから、これにつきまして、昨日のことですので、その辺の経緯含めて樋渡市長のコメントのほうを求めます。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

昨日の黒岩議員の御質問に当たって、議員案件の道路だという質問を受けて、私はもう本当にショックを受けました。そこで、私は昼休み中に問題となっている道路をみずから見に行きました。その際に感じたのは、やはり写真のあのとおりでありました。しかし、私は担当の部長からも聞きましたけれども、これはそういう議員案件ではなくて、やはり修繕をしなければいけないということでした。これは松尾部長がきのう答弁をしたとおりであり、私もそれを最高責任者として信じたいと思います。ただ、そういう誤解を与えざるを得なか

ったこと、そして黒岩議員がそういう御質問をせねばならなかったこと、そして議員案件と言われた議員に御迷惑、御負担をかけたこと、これについては、市政を預かる者として、私は深く謝らなければいけないというふうに思っております。誤解がないようにするといったことが、道路行政を含めて市の全般の行政にかかわることでもありますので、私といたしましては、もう二度と議員案件と言われぬように市政運営を努めていく所存であります。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

きのうの松尾まちづくり部長の答弁の中にも、もちろん合併後の市道の維持工事には格差がございましたということで、武雄地区が特に、旧武雄市のほうがおくれているということで、そのウエート分がそちらのほうに重なった部分もあるということで説明もいただいたところであります。その上で、しかも今回、樋渡市長のほうからそういうことでそういう事実関係はないということでしたので、私は本当に安心をいたしました。ただ、やはり市長が申されますように、今後とも建設工事関係に限らず、特に黒岩議員が言われたように、北方町や山内町では、いまだに格差の是正ですとか、不均衡的なものを感じる方もいらっしゃいますので、そちらのほうは十分に注意をしてやっていただくことをここで申し述べておきたいと思えます。

以上です。

それで、次の項目としまして、固定資産税に関する質問をさせていただきます。

産業振興と固定資産税というと、一見相反することのようではありますが、今回の同僚議員の皆さんの質問のうち、市民病院に関する項目も多々ある中で、やはり一番の争点となっている部分は、池友会グループの社会医療法人化に向けての動きに対する武雄市の固定資産税を初めとする税収に対する考え方も、それに伴う選択といっても過言ではないと私も感じておりました。

御存じのように固定資産税は、貴重な市の直轄財源であります。今年度合併協議会からの取り決めに従い税率の統一も見られたわけですが、市長のほうは今後税率の引き下げを念頭に置いた検討も約束をされております。今後、庁内での検討を経て議会のほうにいずれ提案をされてくると私は思っておりますけれども、ちょうど今年度は3年に一度の評価の見直しのときとも聞いておりますし、現時点での固定資産税収の推移と市の歳入に占める割合がわかればお示しください。

議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

大庭政策部長〔登壇〕

まだ決算見込みの段階でございますけれども、市税の収入合計が55億2,000万円、一般会

計歳入総額に占める割合が26.7%でございます。その中で、固定資産税の収入額は26億9,000万円ということで、一般会計歳入総額に占める割合が13.0%というふうになっております。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

大きな割合を占めるということがわかったわけですが、固定資産税の推移ですね、税率を統一したわけですが、それによって山内町、北方町は税率が上がったわけですが、そういった部分で、税収も金額的には上がっているのか、その辺の確認はできますでしょうか。統一をされて1.55%、高いほうに合わせたわけですね。それによって前年度の合計よりも上がったのか、その辺の推移をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

大庭政策部長〔登壇〕

21年度の見込み額といたしましては26億900万円ということで、20年度の見込み額が、これは現年度分でございますけれども26億5,400万円でございますので、4,500万円程度の落ち込みが予想されます。これは、1.55%に統一をしましたが、今年度が評価がえの時期というようなことで、これが落ち込みの主な原因だというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

税率のほう、1.55%に統一をされました。上げたにもかかわらず、税収は上がっていない、下がっているということですね。

私は以前、質問の場でこれも執行部の政策の中ですけれども、市民の生活に直結する公共料金の中でも、水道料金の引き下げですとか、またあるいは下水道使用料を最低限に抑えての不均衡是正等も努められてまいりました。それに対しまして、私は大変評価をしていた者の一人であります。もちろんこの不況の折に、市民負担である固定資産税についても同様のことは一議員として求めたいとは思っておりますけれども、ただ、説明にもありますとおり貴重な財源ですが、バランスを欠いた歳入の削減は福祉等の事業にもやっぱりはね返ってまいりますので、今後、検討されると思いますが、その辺のバランスも含めた慎重な検討をお願いして御提案をしていただきたいと思います。

今回、固定資産税に関する質問をしたきっかけなんですけれども、山内町の立野川内地区のほうに有田焼工業協同組合というのがございます。いわゆる私どもは十社とって呼び親しんでおりましたけれども、旧山内町においては、本当に進出以来、四十数年になるんですかね。貴重な税収面、そして雇用場として多大なる貢献をしていただいております。

全盛期には、近隣の商店ですとか、またあるいは鮮魚店などにもそこに勤められる方で大変なぎわいをされて、そういう面でも、山内町の西地区において大変、産業の中心的なシンボルであったと私は感じております。その十社なんですけど、協同組合さんなんですけれども、今現在長引く不況のために消費の冷え込み、特に有田町の陶磁器関係の産業の不況のあおりを受けられまして、本当に苦慮をされております。十社の窯元が同時に運営をされておりましたけれども、それが徐々に減られて七社になり、現在もう五社で、半分で運営をされているそうです。窯は、もちろん今言いましたとおり窯元数の減少とか、あるいは商品の発注数の減少にかかわらずたいいていかなければならないということで、燃料費などの経費はかかられるわけでありまして、それで、固定資産税についても、もうおわかりだと思いますが、しかりなっております。こういったケースの場合に、例えば固定資産税の減免ですとか、もしくはそういう企業などに対する減免措置などがもしあればお示しをいただきたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

大庭政策部長〔登壇〕

お答えいたします。

固定資産税の減免につきましては、市税条例及び規則で定めておりますけれども、その中では、生活保護者とか公益のために使用する分、いろいろゲートボール場とかございますけれども、それ等々。それから、火災で災害に遭われた場合、こういった方につきましては減免の対象ということで定めております。

ただ、御質問にございました、今不況等によりまして法人等が非常に厳しいというようなことにつきましての減免の基準というものは設けておりません。その対策といたしましては、納期内納付がそういった状況で困難という場合には、もう納付相談を受けながら納付誓約をいただきまして、分納等による納付をしていただくというようなことでの御相談には応じているところでございます。

議長（杉原豊喜君）

2 番 浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

本当に先ほど来から話してありますとおり、反面、自治体のほうからすれば貴重な税収の財源ということでもありますので、多分そういうのが減免等はないと私も感じておったところですし、実際そうでありました。この不況の折、そしたら何が行政として支援できるかということになってくると思うんですが、それで、逆転の発想ですけれども、経費を削減というか、そういう支援ができないのなら、もう本当に運営費の補てんのために今半分になっている施設内の空き店舗というか、空き施設の利用をする企業の紹介ですとか、またあるいはちょっと私も一緒に話している中で出てきたんですけれども、貸し倉庫として何か利用ができ

るところはないだろうかとか、そういうのは行政のほうからも何か紹介等ができるんじゃないかと話をしたところであります。

そういう中で、一度見ていただけるとわかると思うんですが、十社さんの施設のところで、鉄道に隣接しております国道から入っていくわけなんですけれども、ちょっと坂道が勾配がきつくて、仮に貸し倉庫等で貸して借りていただけたところが出たとしても、なかなか大型のトラック等が入れる余地は、道路がないという話も出てまいりました。そこで、その辺はまだ企業として、組合としても頑張っていく所存があるので、逆に山内のバイパスのほうにそういう道路をつくってでも、何かそういう打開策をつくっていかんばいかんかなとか、そういう話も出てまいりました。そういった意味で、いろんなアイデア、またもしくは行政でできる支援等も、これはあくまで一企業と申しますか、例でありますので、こちらに限らず現存します企業等の支援は、やはり行政としても個々に見ていただきたい部分も出てくるかと思いますので御紹介をさせていただきました。

それで、せっかくでするので組合の紹介というか、経緯ですけれども、以前、これも私が一般質問等で紹介をさせていただきましたけれども、商工会を介して国のジャパンプランド事業として、工業デザイナーの喜多俊之さんって方がいらっしゃるんですけど、これはシャープの液晶テレビのアクオスとか、いろんないすとかのデザイナーですけど、工業デザイナーの方で世界的に有名な方です。多分初めてだと思えるんですけど、その方が陶磁器をデザインされまして、そちらのほうはHANAシリーズといまして、今現在、道の駅黒髪の里の横に隣接しております「なな菜」のほうで使用されております食器がそちらのほうになっております。皆さんもお気づきの方、見られた方がいらっしゃると思いますが、そういう事業のほうにも積極的に参加をされた経緯もあります。

一緒に組合の方と先日お話している中で、その打開策と申しますか、また再度工業デザイナーの喜多さんのほうにデザインをしていただいた陶磁器の開発ですとか、そちらの販売等もおもしろくないですかという話はしたんですけど、そっちは可能な雰囲気があるということでした。ただ、やはりそうなってくると出てくる問題というか、結局は販路の拡大がある程度できないとなかなか難しいところもあるかもしれんねということでした。

同じくしてなんですけれども、低迷する有田の焼き物業界でも有田の卸団地の協同組合に関する若手の窯元さんが集まって計画されているんですけど、「匠の蔵」というグループで商品開発されたピアグラスですとか、焼酎グラスなどは、今現在でもそれなりに売り上げを上げているとのことでした。これも結局は販路の確保ができた、販路を広く持った商社さんができているということでした。ここで、販路に関して樋渡市長に何かアイデア的なものがございましたら、御答弁をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

これは我々のPR不足だったと思いますけれども、実は伊勢丹の新宿店に、皆さんたちのおかげでレモングラスを置いていただくときに、そこに試飲で出しているときのポット、あるいはカップを置くものですね。これは十社さんのものなんですね。白の喜多さんのHANAシリーズを使わせてもらっています。そういったことからすると、伊勢丹新宿店のバイヤーが、これはいいということをおっしゃるので、まずこれをきっかけとしてちょっと販路の拡大をしていきたいなど、伊勢丹にちょっと話をしたいというふうに思っています。

その上で、私が今、念頭に置いているのは、実は私は沖縄にいたときに、沖縄も「やちむん」と言いますが、焼き物が物すごく盛んにつくられていて、実は物すごく売れているんですね。なぜかという、読谷村にちょうど十社のような共同の窯もありますし、その近くに売り場があるんですよ。しかも、それは格好いいかといったら倉庫みたいところで、だあって積んである感じなんですね。もうスーパーでいうとドン・キホーテみたいな感じで、だあって積んであって、そこに物すごく活気というかにぎわいがある、そこに特徴の一つとして近くに沖縄ラーメンの店が、ばあってあるんですね、その施設のところがなくて。そうすると今考えられるのは、販路ももちろん重要ですが、それと並行して、読谷村の共同の焼き物の売り場みたいに実際そこに来てもらう。そこを観光名所にすると。そして、あそこは非常に隔離性もありますので、そこでその食器を使って、例えば食べるとかいうことも含めて再構築がもしできれば、それはきっといいなというふうに思っています。山内町は「やまんくじら」もありますので、とれたての刺身じゃありませんけど、そこで出すとか、さまざまな仕掛けができるのかなと。すごくそういう意味では可能性を秘めたところだなというふうに思っていますので、ぜひ販路と、もう一つそこで売ると。来てもらう仕掛けは山内町の商工会 今武雄の商工会ですけれども、非常にたけておられますので、行政の今、我々をPRに使っていただいて、一人でも多く来ていただくような仕掛けができるんじゃないかと、その可能性は十分に秘められているというふうに思っています。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

樋渡市長のほうから先に御答弁いただきましたとおり、私もちょうどこれから提案をしようかなと思っているところなんですけれども、レモングラス等で伊勢丹等に販路を今まで開発されてまいりました実績等もあられますので、そちらのほうからの支援というか、ぜひともそういった支援ができないかと思っていたところであります。

これも繰り返しになりますけれども、今回たまたま一企業というか、一組合さんの紹介がありましたけれども、山内町に関しまして、窯元さんが60窯元ぐらいあると私も聞いてお

りますし、武雄市内となりますと、またかなりの数、先日、新聞には市長も言われましたとおり、「古武雄」ということで、武雄市内の陶器、焼き物関係のPRも今後はどんどんやっ  
ていかなければならないところに来ていると思います。新しい企業等の誘致ですとか支援等  
ももちろん担当課の係があらわれて支援をされていくわけですけれども、それと並行して、こ  
れまで貢献をしていただいてなかなか景気低迷で厳しいという、既存の企業とか会社です  
とか産業につきましても、もう一度原点に戻ってと申しますか立ち返って、そういったところ  
の支援等もあわせてやっていただきたいことを提案しておきます。

最後の質問です。

地域の活性化、産業の振興などを今まで御提案をしてきたわけなんですけれども、武雄市  
の発展を目指す上で、市民の皆さんの意見を十分に聞き入れ、市長が言われる多聞第一とい  
うところなんですけれども、私ども議員もその負託を受けてさせていただいているわけですけれ  
ども、その議員と市長以下執行部との政策論争の場がこの議会であり、特に一般質問である  
と私も認識しております。今回の同僚、先輩議員の質問の中で、市民病院の民間移譲に伴  
う清算金に関する数字的な表記の問題がありました。直近の3月の定例議会ではっきりと市  
長のほうは、市民の負担はゼロ、ないということを言明されていらっしゃいました。でも、  
それにもかかわらず、その後5月に市民に配布されたピラには七万数千円の負担という、こ  
れは意図的に歪曲したのかどうかわかりませんが、数値を表記されております。政治  
活動の表現の自由はもちろん私ども議員にも権利として与えられていると私も理解をして  
おりますけれども、このケースは、議会において執行権の最高権者である市長がはっきりと言  
明をしたにもかかわらず、それを無視じゃないですけれども、いたずらに市民を混乱させ  
るとともに、議会の権威ですとか、また民主主義の根底にかかわるものと私は感じたとい  
うことを先日、先輩議員のほうから質問があったわけなんですけれども、私もその辺にしまし  
ては、市民の方もそうだと思うんですが、どちらが本当なのかということをやはりきちんと再度  
この公共の場をもって説明をしていただいて安心につなげていただきたいということは感じて  
おられるのではないかと考えております。同時に、このピラに関する行い、表記に対しても、  
市長の意見を求めたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

間もなく5時になりますけど、本日は会議の都合上、あらかじめこれを延長させていただ  
きます。

答弁を求めます。古賀市民病院事務長

古賀市民病院事務長〔登壇〕

それでは、改めまして清算金につきまして御説明申し上げます。

清算金につきましては、基本的には企業債を借りておりますので、移譲時における企業債  
の未償還元金、これが基本になります。これと職員の退職手当ということになります。これ

は、市長からも説明がございましたとおり、職員の退職手当金につきましては積立金を充てるということにいたしております。

それから、企業債の未償還金につきましては、国からの財政支援を大体6億5,000万円というふうに見ております。残る部分につきましては、これは最初に言わなければいけませんでしたが、土地、建物等の売却益、約4億円を充てるということで、ほぼ負担はゼロになるというふうなことでございます。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

今後の議会での答弁、あるいは質問も当たるかもしれませんが、その扱いと、これは共同通信の武雄市議会だよりと私の手元にありますけれども、この関係について所見を申し述べたいと思います。

まず、政策論争はあっていいと思います。その上で、ぜひ議員各位にお願いをしたいのは、特に私が議会で申し上げた数字については、それは正確に引用をしていただきたいということとあります。これは、とりわけ私の答弁は、特に議会で発する場合は公定力を持ちます。ですので、もしこれに疑義がある場合は、書かれる前にぜひ御相談をお願いしたいというふうに思います。そうでないと、あ、宮本議員いいですか。宮本議員、笑っておられますけれども、これは大事なところですので、宮本議員、聞いておいてほしいんですよ。それは別に検閲とかではなくて、その数字について、やはり議員は影響力があります。これは私のみならず、市民の皆さんたちの思うところと一緒にというふうに思っています。そういう意味でいうと、本当に甚だ残念なのが、この共同発行人で、武雄市議会議員で、もうお名前は言いません。るる書かれておりますけれども、市民病院3億9,000万円で売却、ここまではいいと思います。だけど、市民1世帯当たり約7万1,000円負担ということは、これは書いてはいけないことだというふうにやっぱり思います。これから来年、選挙が市長選、市議選あります。恐らく私も含め、皆さん方もいろんなチラシを発行されたりとか配られたりすると思いますけれども、政策論争はあっていいと思いますけれども、その数字はぜひ御留意を賜ればありがたいと思います。そういった意味で、私としては本当にこのチラシそのものは甚だ残念でありました。結構これを見て、そしてあと吉川議員を初めとしていろんなチラシが配られたときに、一気に沈静化にはもう向かいましたけれども、やはりそれは民主主義の私は口スだと思っております。そういったことよりも、こういうまちづくりをしたいんだとか、こういうことをしていくんだということが私はチラシの持つ意味だというふうに思っておりますので、議員の皆様方におかれては、ぜひちょっと甚だ僭越ながら御留意を賜ればありがたい、これが私の見解であります。

議長（杉原豊喜君）



## 2 番浦議員

### 2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

ただいまの私の質問に対しましても、これが私が題材にしておりました地域の活性化や産業の振興に関する質問なのかという疑義もちょっと聞こえてまいりましたけれども、市民病院の民間移譲の問題は企業誘致という面もあります。また、雇用の創出もございます。先ほど来、私が質問をしてまいりました固定資産税の面も含んだ問題ではありますので、あえてじゃないですけど、質問をさせていただいたところであります。

最後になりますが、先ほどからあるように、今後も多聞第一の主義を市長には貫いていただき、安心・安全で活力のある武雄市を目指すために市民一丸となって頑張ってくださいことを祈念しまして、私の質問を終わらせていただきます。